

市民の声を市政に
Kirishima City
16人がより良い市政を目指して
一般質問

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。今回の議会では、16人の議員が一般質問を行いました。掲載内容は、各議員本人が質問と答弁を要約したものです。全ての質問と回答は、市議会ホームページの録画中継やYouTubeで視聴できます。

議員顔写真下の二次元コードを、スマートフォンのバーコードリーダーで読み取ることで、一般質問の録画中継がYouTubeでご覧いただけます。

霧島市議会 中継 検索

産業建設常任委員会

◎下深迫孝二 厚地 覺 ○前島 広紀 新橋 実 木野田 誠 常盤 信一 中馬 幹雄 岡村一二三 志摩 浩志

<審査した議案・陳情>

- 議案第77号 霧島市公設地方卸売市場の設置及び管理に関する条例の一部改正について ……全会一致で可決
- 議案第78号 霧島市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について ……全会一致で可決
- 議案第92号～95号、97号、99号、100号 指定管理者の指定について ……全会一致で可決
(国分上之段・国分平山・国分塚脇地区コミュニティ広場ほか1施設、国分ハイテク展望台ほか1施設、霧島高原国民休養地(乗馬施設を除く)ほか1施設、霧島高原国民休養地乗馬施設、中央児童公園ほか16施設、国分宮農研修センター、塩浸温泉龍馬公園)
- 議案第96号 指定管理者の指定について(城山公園) ……賛成多数で可決
- 議案第101号 字の区域の変更について ……全会一致で可決
- 議案第102号 議決事項の一部変更について ……全会一致で可決
- 議案第103号 和解することについて ……全会一致で可決
- 議案第105号 区域を越えて宮崎県都城市道の路線を認定することの承諾について ……全会一致で可決
- 陳情第9号 霧島市法定外公共物管理条例、平成17年11月7日条例第263号の施行に係る条例改正についての陳情 ……全会一致で不採択

問 新たな道路の整備はできないか
霧島線、久保田バス停から東側への市道整備について

答 本道路は、青葉小学校への通学路として位置付けられおり、農道部分は、特に農繁期において、農耕車両等の交通量が多く、下校時の通行に支障がある。今後、発生しないよう、教育委員会をはじめ関係機関等と連携し、安全な通学路の維持管理に努めていきたい。

問 子どもたちが安心して通学できる重久橋交差点から青葉小学校までの道路整備について問う。

答 この道路は、幅員が狭く、車の離合にも支障をきたす場所があり、道路整備の必要性を認識している。さらに、久保田バス停前の三叉路は、空港方面への交通量が多く、右折車が滞留するなど課題があることから、東側の郡田方面に通じる新たな道路の検討を行っていきたい。



通学路の安全を確保せよ

問 奥天降渓流域の保全・保護対策と利活用振興策を示せ

答 奥天降渓流域観光整備基本計画の進捗状況と展望、火砕流堆積物(真米甌穴群)や、カワゴケソウ等の保存・保護の対策、そのための関係各部署の取り組みを問う。

問 男女共同参画社会の実現を目指せ

答 平成27年度採用予定者は13名、うち男性9名で69%、女性4名で31%である。年代別男女構成の割合は、10代は男性100%、20代は男性83%、女性17%、30代は男性75%、女性25%、40代は男性77%、女性23%、50代は男性74%、女性26%である。今後も、男女共同参画計画に定めた目標達成に向け、取り組みを継続する。



問 指定管理者の指定について

平成27年3月31日が指定期間終了のため、平成27年4月1日から平成32年3月31日までの5年間、管理者を指定するものである。選定については、霧島市指定管理候補者選定委員会の委員が申請者からの事業計画書等の審査、ヒアリングを行い、審査基準に従い評価を付けた。各委員の評価を合計し最高点の申請者について、協議し選定したとの説明。

問 城山公園の管理者が現在の管理者から変更になっている理由は。

答 主な理由としては、新たな指定管理候補者の提案で①市内の子供たちが遠足で利用した場合に50%減免することや、具体的な利用者の増加の提案。②新たな城山公園情報誌の作成や、郷土館も踏まえた案内チラシの作成等。③収支予算書と仕様書の整合性や経営基盤の安定性。④過去に類似

問 霧島市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について

現在建築中の木之房団地が平成27年1月に完成予定のため、市営住宅として管理を開始し、また、平成26年7月に稲荷団地の平屋建1戸が火災で被災し、解体を行ったことから、所要の改正を行うとの説明。

問 木之房団地への入居者募集はいつからか。

答 募集期間は、平成27年1月15日から1月30日までを予定している。

問 入居はいつからできるか。

答 抽選を2月9日に行うため、翌日以降、書類が完備すれば随時入居できる。

問 国分・隼人地区の入居率は100%に近いと思うが、既存の木之房団地はどうか。

答 今のところ100%である。

問 指定管理者の実績がある。これらが評価された。

問 応募が1社しかない施設もあるがその理由は。

答 コミュニティ広場が主であり、収入もないため魅力がないのではないかと。

問 指定管理者は県外業者でもいいのか。

答 県内に営業所等があれば対象となる。

問 空家解消の手段として、家賃の値下げは考えられないか。

答 公営住宅法で規定があり、値下げは難しい。下場地域の空家の原因は老朽化と設備面(トイレが汲み取り式等)が原因の一つと考えられる。これらの改修には相当の費用が掛かるため、現在のところ改修計画の予定はない。

問 隼人地区は平屋建ての古い家が空家になっているが、中山間地域は鉄筋コンクリート造りの住宅でも空家になっている。

答 隼人地区は平屋建ての古い家が空家になっているが、中山間地域は鉄筋コンクリート造りの住宅でも空家になっている。

所管事務調査
市営住宅の空家調査

福山地区の樗木段住宅と大塚団地、国分地区の清水団地、霧島地区の梅之木団地、牧園地区の高千穂団地とひばりが丘第一住宅、横川地区の小山之口住宅、溝辺地区の第二陵南団地、隼人地区の姫城団地の空家状況を現地調査した。

平成26年11月現在、市全体の入居可能戸数は4454戸あり、うち空家戸数は429戸、空家率は9.63%となる。国分

市営住宅の現地調査

